



【日本気象協会からのお知らせ】

2026年6月26日
一般財団法人 日本気象協会

第13回「震災対策技術展」大阪に出展 ～気象・防災知識の普及と災害被害の軽減を目指します～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：守屋 岳、以下「日本気象協会」）は、2026年7月2日（木）～3日（金）に開催される第13回「震災対策技術展」大阪に出展します。

日本気象協会は、気象・防災知識の普及啓発を目的として公益事業を実施しています。日本気象協会の各種展示内容が、災害時の早急な避難や被害の軽減につながれば幸いです。皆さまのご来場をお待ちしています。

概要

■ 開催日時

2026年7月2日（木）～3日（金） 10:00～17:00

■ 場所

マイドームおおさか（大阪府大阪市中央区本町橋2番5号）

■ 入場方法

来場登録制（詳細は公式サイト <https://shinsaiepo.com/osaka/> をご確認ください）

■ 入場料金

無料

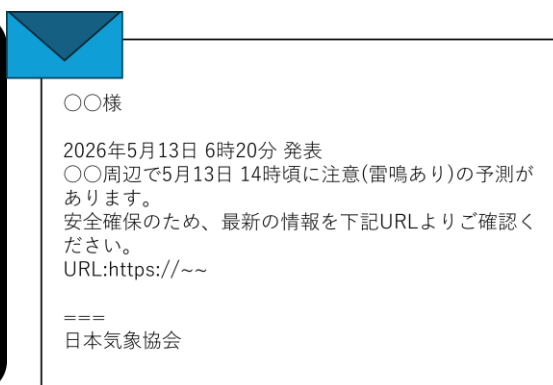
日本気象協会の出展内容

■ 雷危険度予測システムの展示

日本気象協会は、大阪大学大学院工学研究科の佐藤陽祐教授の雷予測技術を活用し、雷危険度予測システムを開発しました。本システムは地図上での危険度表示や危険度時系列グラフ、メール通知機能を備えています。最大39時間先まで予測を行います。



雷危険度予測システムの
地図表示と時系列グラフ
イメージ



雷危険度メール通知イメージ

■ 可搬型微気圧観測装置（微気圧計）の展示

地震による地面の震動や津波波源の生成、火山の爆発的噴火、雷、竜巻、雪崩、地すべりといった自然現象から、気圧変動（微気圧振動波）が発生します。日本気象協会では、微気圧振動波から、防災や減災に役立つ情報を得るために、観測、解析技術の開発や精密な気圧観測網の全国展開に取り組んでいます。

微気圧計による現地観測、解析、研究：<https://www.jwa.or.jp/services-solutions/disaster-mitigation/field-observations-analysis-research-using-microbarographs/>



可搬型微気圧観測装置（微気圧計）

■ 「tenki.jp 知る防災」プロジェクトの冊子を配布

天気予報専門メディア「tenki.jp 知る防災」プロジェクトに掲載している情報をもとに制作した冊子を配布します。地震のしくみなどをやさしく解説した「知る防災～地震編～」と地震により発生することがある津波について解説した「知る防災～津波編～」の2編をご来場者へ配布します。

「tenki.jp 知る防災」リンク：<https://tenki.jp/bousai/knowledge/>



知る防災

～地震編～

地震は、プレートと呼ばれる地下の岩層がずれることによって発生します。日本列島付近には複数のプレートが存在し、その影響もあって日本では地震が多く発生します。地震はいつでも発生しうるため、普段からの備えが非常に重要です。万が一に備えて日頃からできる準備をしておきましょう。

地震のしくみ	地震に備えて
地震が発生したときは	地震発生後に避難するときは

本冊子は天気予報専門メディア tenki.jp「知る防災」をもとに作成しています。
「知る防災」<https://tenki.jp/bousai/knowledge/>

 日本気象協会



知る防災

～津波編～

海底の振動によって海面が振動し、それが大きな波として伝わっていくものを津波と呼びます。津波は水深の深いところではジェット機並みの速度で沿岸に迫り、家や車などを一瞬にしてのみ込んでいきます。地震が発生したり、津波注意報や津波警報が発生したりしたときに焦らず正しい行動ができるよう、日頃から備えをしておきましょう。

津波のしくみ	津波に備えて
津波の到来が予想されるときは	津波から避難するときは

本冊子は天気予報専門メディア tenki.jp「知る防災」をもとに作成しています。
「知る防災」<https://tenki.jp/bousai/knowledge/>

 日本気象協会

■ 関連リンク

出展者一覧 一般財団法人 日本気象協会

<https://shinsaiexpo.com/osaka/exhibit/20256015/>